

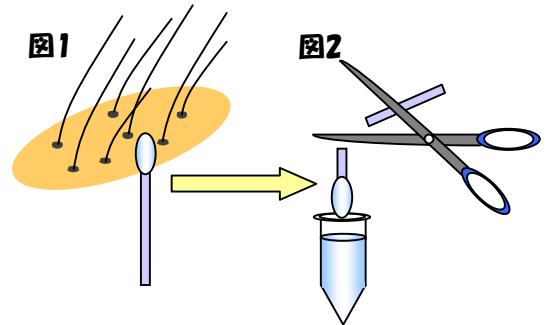
皮膚糸状菌遺伝子検査

皮膚糸状菌が原因となる皮膚炎は、細菌性皮膚炎に比べ発生率が低いものの、感染性皮膚炎の5~10%の割合で発生する疾患です。診断には、病変部の直接鏡検や真菌培養などが行なわれていますが、検出感度が低いため診断が困難な症例が多数存在します。そこで弊社では検出感度が優れている遺伝子検査を開発しましたので、ご案内いたします。

◇検体採取法

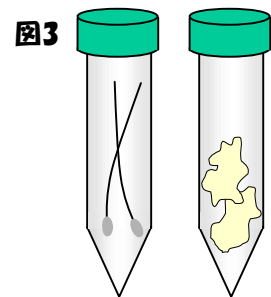
A. 綿棒を使った拭い液の採取法

- 1) きれいな容器（スピッツ管、サンプルチューブ）に2mlの生理食塩水を入れて下さい。
- 2) 市販の滅菌綿棒で、病変部をよく拭いて下さい（図1）。
綿棒の先端を生理食塩で濡らすと、採り易いです。
- 3) 綿棒の先端を切断し、1)の容器に入れて下さい（図2）。
- 4) 容器の蓋をしっかりと閉めて下さい。
輸送中の漏れが心配な場合には、パラフィルム等で密封して下さい。
- 5) 冷蔵で保存して下さい。



B. 毛・鱗屑の採取法

- 1) 病変部の毛・鱗屑をきれいな容器に採取して下さい（図3）。
- 2) 冷蔵で保存して下さい。



注意

・症例によっては、拭い液で検出され毛で検出されない、逆に拭い液で検出されずに毛で検出される場合があります。可能ならば、1つの容器にAとBで採取した検体を混ぜて下さい。

◇報告日数

検体受け取り後、4~5日以内にご報告します。

◇検査費用

お問い合わせ下さい。

◇その他

新しい依頼書をお持ちでない先生は、弊社までお問い合わせ下さい。また、お急ぎの場合には、古い依頼書の空欄に「皮膚糸状菌遺伝子検査」と記入し、検体と共に提出して下さい。

株式会社 ケーナインラボ

〒184-0012

東京都小金井市中町2-24-16

農工大・多摩小金井ベンチャーポート302

電話: 042-401-2291(代表)

042-401-2294(検査室)

FAX: 042-382-7384

HP: www.canine-lab.jp E-mail: info@canine-lab.jp

お気軽にお問い合わせ下さい。



検体集荷

株式会社 モノリス

〒182-0012

東京都調布市深大寺東町8-31-6

電話: 042-443-7200(代表)

042-443-6181/6183(集荷)

FAX: 042-443-6182

検体集荷はモノリスが代行しています。



参考データ

検査の受託に先立ち、臨床研究を行いました。ご参照下さい。

(1) 分離株からの検出

菌株	検査結果
Microsporium canis	陽性
Trichophyton rubrum	陽性

遺伝子検査は、原因菌をきちんと検出できる。

(2) 健常動物、環境中（砂・土）からの検出

検体	検体数	検査結果
健常イヌ体毛	3	検出されず
健常ネコ体毛	8	検出されず
健常ネコ体毛	1	陽性
砂	3	検出されず
土	3	検出されず

偽陽性は、ほとんど排除できる。

(3) 皮膚糸状菌以外の皮膚疾患の動物からの検出

症例	症例数	検査結果
化膿性皮膚炎（膿皮症）	3	検出されず
アレルギー性皮膚炎	1	検出されず
アカラス症（ニキビダニ症）	1	検出されず
甲状腺機能低下症による脱毛	1	検出されず

偽陰性は、ほとんど排除できる。

(4) 皮膚糸状菌症と確定診断の得られた症例からの検出

症例	症例数	検査結果
痒みのない局所の脱毛を主訴に来院した猫、ウッド灯検査により病変部が発光	5	陽性

(1)、(2)、(3)、(4)の結果から皮膚糸状菌症に対して特異的な診断が可能であると考えられる。

(5) 皮膚糸状菌遺伝子検査が診断に有用であった症例

症例	症例数	検査結果
臨床症状からは皮膚糸状菌が疑われたが、 真菌培養で陰性であったため診断に困った症例	5	陽性
臨床症状（痒みを伴わない脱毛）からは皮膚糸状菌が疑われたが、 ウッド灯で発光しなかった症例	4	陽性
臨床症状からは皮膚糸状菌とは異なる疾患を疑ったが、 ダーマキットによる真菌培養で菌が検出されたため診断に困った症例	2	検出されず

臨床研究にご協力いただいた多くの先生方に厚くお礼申し上げます。

